

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	令和2年度第1回 松阪市文化財保護審議会
2. 開催日時	令和2年10月30日(金) 午後1時30分から午後3時45分
3. 開催場所	松阪市産業振興センター2階 人材育成講座室
4. 出席者氏名	別紙のとおり
5. 公開及び非公開	一部非公開
6. 傍聴者数	1名
7. 担当	松阪市殿町1340番地1 松阪市産業文化部 文化課文化財係 担当者 : 松葉・高山 電話 0598-53-4393 FAX 0598-22-0003 e-mail bun.div@city.matsusaka.mie.jp

報告事項

- (1) 前回の協議内容の確認について
- (2) 令和2年度の主な文化財保護関係業務について

協議事項

- (1) 松阪市文化財センター収蔵庫新築工事にかかる設計について
- (2) 指定文化財について【非公開】

その他

- (1) 歴史民俗資料館2階小津安二郎展示室について

議事録要約

別紙

令和2年度第1回松阪市文化財保護審議会 議事録（要約）

<日時> 令和2年10月30日（金）午後1時30分から午後3時45分

<場所> 松阪市産業振興センター2階 人材育成講座室

<出席委員> 菅原洋一会長、門暉代司会長代理、榎本義讓委員、小林秀委員、鈴木えりも委員、塚本明委員、津村善博委員、富田靖男委員、中谷真弓委員、藤田直信委員、本多久子委員、毛利伊知郎委員、龍泉寺由佳委員

<欠席委員> 大森尚子委員、武田明正委員、山口泰弘委員

<事務局> 内山産業文化部長、川村文化課長、松葉担当監、中尾主幹兼係長、寺嶋主任、高山主任

<傍聴者> 1名

1. 開会

2. あいさつ

3. 報告事項

(1) 前回の協議内容の確認について

（事務局報告）

質疑無し

(2) 令和2年度の主な文化財保護関係業務について

（事務局報告）

委員：「おおだいがはらさんしょううお」は和名ですので、片仮名で表記をお願いしたい。

事務局：県指定天然記念物の指定名称の表記が平仮名で表記されていますので、それに倣いました。

4. 協議事項

(1) 松阪市文化財センター収蔵庫新築工事にかかる設計について

（事務局報告）

会長：この収蔵庫は、松阪市の文化財を良好な状態で保存していくために、必要不可欠

な施設。工事期間が2年程あるので、公園利用者に対して工事過程等の適切な情報提供や見学会を行うなど、この施設についての市民の理解が得られるよう努力していただきたい。

(2) 指定文化財について

(非公開)

5. その他

(1) 歴史民俗資料館 2階小津安二郎展示室について

(事務局報告)

委員：現在、2階は松阪木綿に関する機織りや白粉の展示をしていると思いますが、それは取り払ってしまうのですか。

事務局：規模は縮小しますが1階で展示していく予定です。常設展示に加えて、年に4回行われる企画展の中でも紹介していく予定です。

委員：現在の青春館は今後、どのようになっていくのですか。

事務局：青春館については松阪市が借用している施設で、借用開始から17年になる。「10年を目途に新しい所を考えてほしい」という所有者からの話が以前からあったため、移転に踏み切った。移転の準備が整いしだい青春館の看板は降ろす。基本的には中のものを移すことと新しいものをいくつかコレクターの方の協力をいただいて展示していくという状況です。

委員：歴史民俗資料館という名称は変わるのでしょうか。

事務局：歴史民俗資料館という名前は変わりません。

委員：2階つきあたり右側の部屋はどのような活用をされますか。

事務局：そのまま倉庫として使っていきます。

委員：歴史民俗資料館のイメージと展示内容にギャップがあるのでは。小津安二郎の展示がメインになってしまうことを危惧する。

委員：1階の展示はこれまで通りですよね。

事務局：2階にある木綿の展示を1階に付け加えて、お城の関係や蒲生氏郷、梶井基次郎等の常設展を充実させていこうと思っております。子供たちの学習に使えるように、昭和の展示も残していきたいと思えます。また2階の小津安二郎の展示についても、安二郎が松阪市で生きた時代の大正時代を中心に、当時の生活文化を紹介していきたい。

会長：工事はいつから始める予定ですか。

事務局：12月に契約をして1月から2月にかけて改修し、3月20日にリニューアルの予定で、併せて企画展もしていく予定です。

委員：外部から見れば、歴史民俗資料館より小津安二郎のほうがメジャーですので、新しい館名を少し考えてはどうですか。

事務局：その部分についてはまだ確定しておらず、施設条例の中で運用していきたいと思っております。条例は変えずに、愛称とした方がいいのか、多方から意見を聞いているところです。

委員：何かひとつメインの展示があればいいのですが、あれもこれも全部やろうとしていくとなると一体どうなるのか心配になります。

委員：展示が小津安二郎一色になると少し寂しい気もする。

事務局：歴史民俗資料館の建物自体が好きだというお客さんもみえますし、その辺りも非常に悩ましいところで、何かいい方法があればと思うのですが。

委員：非常に手狭になると思いますので、桜松閣を利用してはどうかと思います。

委員：そうですね、発展的に考えられる気がします。

事務局：はい、ありがとうございます。

委員：それと歴史民俗資料館は、少ないスタッフでよくあれだけの仕事を切り盛りしているなという印象があります。増員も検討した方がいいのではないのでしょうか。

事務局：はい、要望していきたいと思えます。現場の方には負担にならないようにしたいと思っております。

6. 閉会